

世界と地方とSDGs

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



世界の視点から見た日本と、日米の架け橋とご自身の移住体験から語る日本の地方とSDGsについてお話しいただきます

皆と一緒に
このまちの
未来を考え
ましょう！

多田 幸雄氏講演会

双日総合研究所 相談役／北海道大学新渡戸
カレッジフェロー／長崎大学経済学部 客員教授

プロフィール

1976年に総合商社の日商岩井（現双日）に入社。
3度の留学を含め海外生活18年。米国（ワシントンDCに13年）、フランス、台湾に駐在。民間企業に勤めながら官民学NGOの連携を支援。
経済同友会の米州委員長、知日派・親日派拡大委員長、文部科学省の戦略的留学生検討会・英語教育有識者会議・同連絡協議会の座長・委員、国内外の大学・研究機関で講師等を歴任。在米NPO法人CEPEX理事長として外務省の日米草の根交流事業に協力。

参加
無料
予約不要



日時 2021年 12月4日 土
13:30~15:30



会場 多可町役場 大会議室
〒679-1192
兵庫県多可郡多可町中区中村町123番地
※役場の駐車場をご利用ください。

問合せ 多可町役場企画秘書課
TEL: 0795-32-2381 (担当: 小西)
kikaku@town.taka.lg.jp

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と入室の際のアルコール消毒にご協力をお願いいたします。発熱、体調不良の場合は参加をお控えください。

SDGs っていったい何！？

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。下記の17のゴールを指標に、「誰一人取り残さない」「持続可能な社会」の実現に向けた取り組みのことで、これまでの社会の発展において地球環境や社会の仕組みに歪みが出てきたため、国や自治体だけでなく、企業や団体、個人でできることに取り組むことが大切なのです。



多可町って、実は昔から SDGs なまち

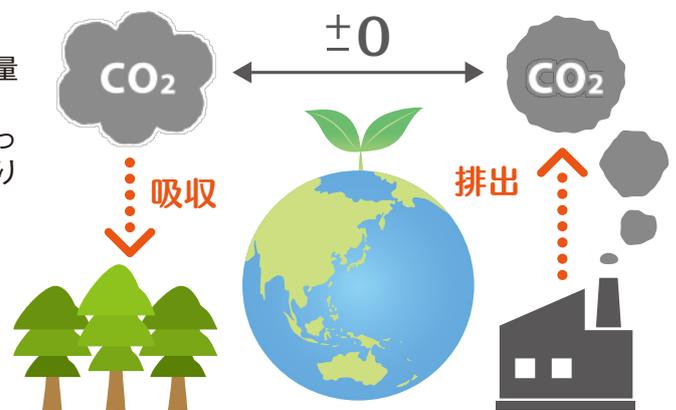
【カーボンニュートラルとは？】

排出される二酸化炭素と、吸収される二酸化炭素が同じ量になるようにする目標のことです。

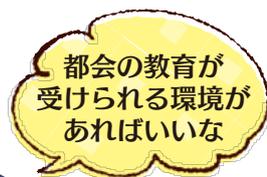
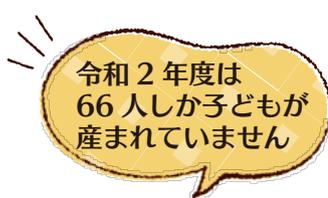
多可町は面積の80%を森林が占めていて、昔から木を切って産業として活かして、また木を植えるということを繰り返して地域の歴史や文化を作ってきました。

【コミュニティの力】

近所の高齢者などへのお声かけや、清掃活動、イベント開催などを通して、集落において、助け合いや支え合いのコミュニティが形成されています。効率化を求める社会の中で、「持続可能な社会」が築かれてきました。



でも、こんな課題も…



SDGs は、すべての人に関係すること

地球温暖化や人口減少、少子高齢社会などの課題は、一足飛びには解決しません。現代社会をつくってきた大人はもちろんのこと、10年、20年後に社会を支える立場になる子どもたちのためにも、すべての世代の人たちが自分たちでできることを考えて行動をしなくては、課題は解決されません。まずは、一緒に考えることから始めましょう！

【多可町 SDGs プラットフォーム（仮称）への登録のお願い】

多可町内の事業者・団体など、SDGs に積極的に取り組む広範なステークホルダーのパートナーシップ強化のために、SDGs の取り組みを表明・自己評価をして「登録」をしていただく制度を準備中です。町内で SDGs に取り組んでいる事業者等の活動の「見える化」を行い、SDGs 専用サイトでそれらの取り組みを紹介することでステークホルダー同士の連携によって新たな産業や活動を促進し、町内における SDGs の取り組みの活性化につなげることを目的としています。※詳細は 2022 年 1 月号の広報をご参照ください。